

会員企業ルポ

4th. 村松風送設備工業株式会社



面会者；常務取締役 村松 瑞夫 氏

会員企業を訪問し、事業活動の様子を取材させて戴きご紹介するコーナーです。今回は、浜松市大久保町の浜松技術工業団地内にあります村松風送設備工業株式会社を訪ね事業概要や化学工学分野との関わりなどを取材させて戴きました。

1.事業概要は？

1946年に板金業を創業、1948年からサイクロン集塵装置の製造を開始して以来風送分野を切り拓いてきました。

取り扱い装置は、次の通りです。

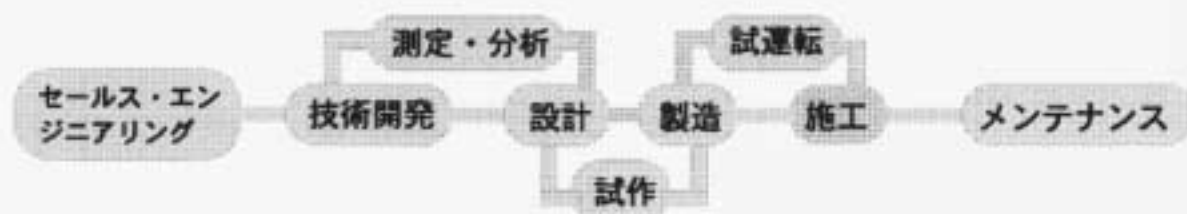
環境装置として集塵装置、脱臭・吸収装置、騒音防止装置、清掃装置

産業装置として空気搬送装置、貯槽装置、他

集塵装置がこれらの中で主力で90%を占めています。現在、環境問題で重視されていますダイオキシンの除去技術につきましても注力しており、関係各方面からの問い合わせが多々きております。

2.化学工学の活用面は？

弊社の装置開発のプロセスは次のようになっています。



技術分野は、集塵・分級・輸送・吸着・熱交換・反応と化学工学に関するものが多くあり大変重要です。化学工学の多くの理論を設計に応用し、実際の運転によるデータの蓄積をしてきました。この他、制御・土木工学・構造設計などの技術を活用しています。

3.今後の取り組みテーマは？

まず、ダイオキシン関係をより発展させることです。それから従来弊社の対象としてきましたユーザーは、木工・造船等の樹脂成型・鋳物などの粉体を扱う産業ですがこの粉体に関してもっと幅広い分野への浸透を図って行きたいです。例えば、ガラス・半導体・精密印刷などです。現在、技術者は6名で、内化学工学は2名ですが、今後更に人員を充実していくことや大学とのより積極的な連携も大切なテーマです。

<製品例>



バグフィルター「fシリーズ」



バグフィルター施工例



CEC式 電気集塵装置

会議等の間をぬって時間を戴き有難うございました。環境重視の今、一番時流にマッチした業種の一つを拝見させて戴きました。ここで、化学工学が広範に活用されていることを知り、この分野の学問の重要性を再認識すると共に、化学工学を学んだ頃が大変懐かしく思い出されました。

今後 一層のご発展をお祈り申し上げます。

リポーター；

幹事 (有) ホープ・マネジメント
河合文雄